

■教材・教具 ■聞き合い活動 □サプライズ □ニーズの調整 ■その他

## 1 本時のねらい 4/5 時

金属をあたためたり冷やしたりする実験を通して、金属の性質を理解することができる。

(知識・理解)

## 2 支援の工夫

## ① デジタルコンテンツ

- ・ アルコールランプの使い方や注意点などを分かりやすく掲示するためにデジタルコンテンツを使用し、児童の興味・関心を高めたり、復習の手助けとしたりする。
- ・ 実験を実際に行っている映像を示すことにより、実験の方法と手順を視覚的にとらえ、見通しをもちやすくする。

## ② 教具の整理

- ・ 使用する道具はグループごとにまとめてかごに入れておく。
- ・ 元の状態の写真を示すことにより、片付けをしやすくする。

## ③ 考え方の共有

- ・ ワークシートに自分の考えを書く欄と友達を考えを書く欄を設けることにより、友達の考えと比べて考えたり、参考にしたりすることができるようにする。

## ④ 活動の流れを示す掲示物

- ・ 見通しをもって活動できるように、活動の流れを示したボードを用意し、色磁石で現在の学習場面かを示す。

## ⑤ 聞き合い活動

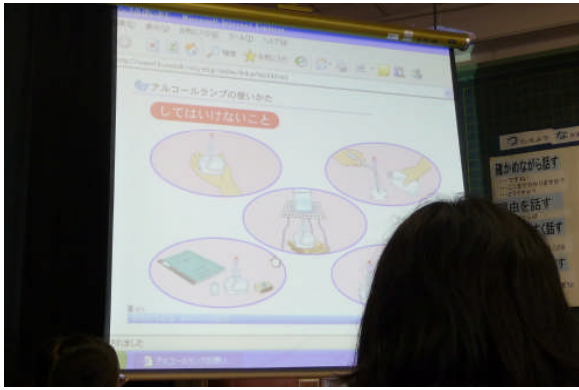
- ・ 友達の考えをワークシートに書き込むことで、友達の考えにしっかりと耳を傾けて聞くことができるようにする。
- ・ 「つなぐ言葉」を意識させて、友達の考えに反応したり、自分の考えと比べながら話したり聞いたりできるようにする。

## 3 考察

○ 本時では、学習活動の前半にデジタルコンテンツを用いることで、児童の学習内容への興味・関心を喚起させ、一層理解を深められるようにした。アルコールランプの使い方を復習する場面では、児童が画面に集中して学習する姿が見られ、興味・関心の高まりを感じることができた。また、実験の説明をする場面では、映像を流すことで実験の方法や手順を視覚的にとらえ、見通しをもって次の活動に取り組むことができていた。視覚的情報提示により理解を促す方法としては、発表の場面で実物投影機を用いて児童の発表の手助けとしたり、発展の場面で練習問題や別解などを提示したりすることも効果的であると考えられる。

「聞き合い活動」を予想の段階で取り入れることにより、実験への意欲付けとなると考えた。友達の考えを聞きながらワークシートに書き込むことにより、注意深く聞いたり、理解できなかったところを聞き直したりする姿が見られた。しかし、書くことに時間がかかる児童もいたため、十分に「聞き合い活動」に取り組めていないグループもあり、書く活動を別に設定したり、まとめ方を工夫したりする必要があった。

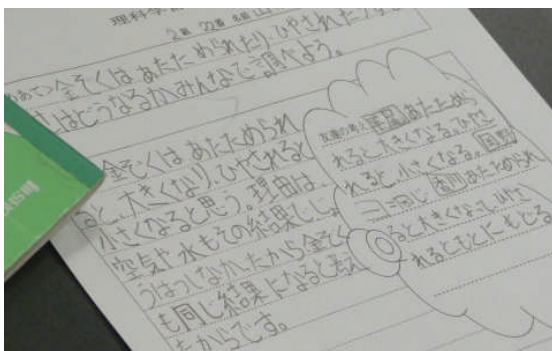
① デジタルコンテンツ



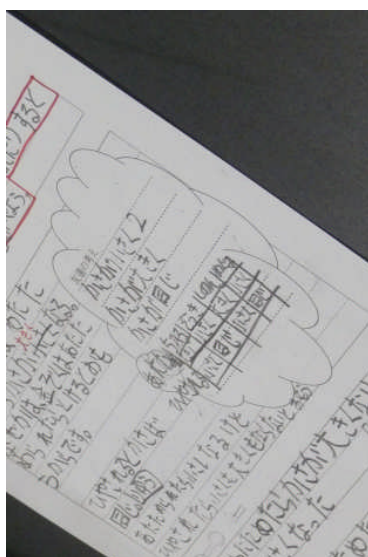
② 教具の整理



③ 考え方の共有



④ 活動の流れを示す掲示物



⑤ 聞き合い活動

